

科目名	学習技法							年度	2024
英語科目名	Learning Methods							学期	前期
学科・学年	応用生物科1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	柿沼 祐子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		大学医学部の研究室に技術員（テクニシャン）として勤務、バイオテクノロジー分野の実験・研究に従事		
【科目の目的】 学生生活や実験・実技において危険予知、改善ワークを理解することを求められる。この科目を履修することにより自ら考え行動を移せるようになることを目的とする。									
【科目の概要】 本学科で必要とされる習得すべき学習技法を学びます。5W1Hや報道連など社会人マナーも自分から応用できるような基礎知識を学びます。品質管理検定4級に合格すると共に、学生生活や実験・実技における危険予知、改善ワークについて自ら動けるようになり考える基本原理として活用できるようになる事を目標とする。									
【到達目標】 A. 組織で仕事をするにあたって、品質管理の基本が言える B. 企業活動の基本常識を理解し実際の状況で対応することができる C. 良い製品づくりのため行動することができる D. 企業等などで行われている改善活動のことばの意味を理解している E. 社会人として仕事の進め方を実践できる知識を持っている									
【授業の注意点】 レポートの作成や改善計画の立て方、さらに改善アクションのとり方などを毎回繰り返して実施するので遅刻・欠席などはしないこと。また、自発的で積極的な態度で受講する事を希望する。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	組織で仕事をするにあたって、品質管理の基本が正確に言える	組織で仕事をするにあたって、品質管理の基本が言える	組織で仕事をするにあたって、品質管理の基本を理解できる	組織における良い製品づくりを知る	組織における良い製品づくりについて理解が不十分				
到達目標 B	企業活動の基本常識を理解し実際の状況を予測、対応することができる	企業活動の基本常識を理解し実際の状況で対応することができる	企業活動の基本常識を理解することができる	企業活動の基本常識を一部理解することができる	企業活動の基本常識を理解し実際の状況を予測することができない				
到達目標 C	良い製品づくりのための行動が実際の状況で判断できる	良い製品づくりのための行動することができる	良い製品づくりのための心構えができる	良い製品づくりのための心構えと行動を知っている	良い製品づくりのための心構えと行動を理解できていない				
到達目標 D	企業等などで行われている改善活動のことばの意味をしっかりと理解している	企業等などで行われている改善活動のことばの意味を理解している	企業等などで行われている改善活動のことばを知っている	改善活動のをある程度理解している	改善活動のことばの意味をしっかりと理解できていない				
到達目標 E	社会人として仕事の進め方を実践できている	社会人として仕事の進め方を実践できる知識を持っている	仕事の進め方を実践できる知識を持ち実践できる	仕事の進め方を実践できる	社会人として仕事の進め方を実践できていない				
【教科書】 品質管理検定4級の演習問題と解答実習テキスト、実習データ									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストや課題を課し総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		学習技法				年度	2024
英語表記		Learning Methods				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	品質管理の実践	組織における良い製品づくりを知る	1	品質とその重要性	品質とその重要性について知ることができる	1	
2			2	管理活動	製品の品質と仕事の質を良くしていく活動を知る	1	
			3	改善（継続的改善）	改善活動について理解できる	1	
3	品質管理の手法	品質管理活動における基礎知識を身につける	1	データの種類	数値データと言語データについて理解できる	1	
4			2	データの活用	母集団とサンプルについて理解できる	1	
			3	QC7つ道具	QC7つ道具について特徴を理解できる	1	
5	企業活動の基本	1回～3回をまとめ	1	ほうれんそう	業務の円滑な流れを担う報連相について知る	1	
6			2	5W1H	コミュニケーションをになう5W1Hについて知る	1	
			3	安全衛生の活動	現場で重要な職場の安全衛生の活動について知る	1	
7	品質管理検定4級対策1	資格取得の為の勉強	1	管理項目	再度、管理項目について理解できる	2	
8			2	重点指向	再度、重点指向について理解できる	2	
			3	標準化	再度、標準化について理解できる	2	
9	品質管理検定4級対策2	資格取得の為の勉強	1	過去問	実際の過去問を使って対策ができる	2	
10			2	採点	採点後どこが苦手なところか把握できる	2	
			3	やり直し	ミスをしたところをやり直すことができる	2	
11	品質管理検定4級対策3	資格取得の為の勉強	1	過去問	実際の過去問を使って対策ができる	2	
12			2	採点	採点後どこが苦手なところか把握できる	2	
			3	やり直し	ミスをしたところをやり直すことができる	2	
13	品質管理検定4級対策4	資格取得の為の勉強	1	過去問	実際の過去問を使って対策ができる	2	
14			2	採点	採点後どこが苦手なところか把握できる	2	
			3	やり直し	ミスをしたところをやり直すことができる	2	
15	品質管理検定4級対策5	資格取得の為の勉強	1	過去問	実際の過去問を使って対策ができる	2	
			2	採点	採点後どこが苦手なところか把握できる	2	
			3	やり直し	ミスをしたところをやり直すことができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等